

障害福祉分野の ICT 導入モデル事業における導入事例

法人名 社会福祉法人 海望福祉会
事業所名 ぶどうの森

1. ICT 機器の製品名

ノートパソコン

2. ICT 機器導入前の課題

当事業所の主な作業は農作業の為、事務所以外での活動場所が数か所あることで、それぞれの場所で職業指導員等が支援状況をメモ等で記録しサービス提供時間以降にパソコンへ入力していた。職員の超過勤務時間に関し、法人は就業時間内に業務を終えるよう始業時間の変更や職員の増員等で対応を行っていた。記録までの時間を記憶だけに頼ることもあるので正確な情報を入力することができないこともあった。

3. ICT 機器導入の推進方法

ICT 機器導入に関する取組や成功事例の周知。事例を知ることで、自分の事業所でも活用する手段があることを発見できる。

4. ICT 機器導入後の成果

①業務効率化について

当事業所は、「農福連携」でさつまいもを生産し加工・販売を行っている。活動場所は、事務所、畑、貯蔵庫、いも洗い作業所、加工場など数か所に点在している。パソコン導入後は、利用者への支援状況を活動場所で正確な作業時間や作業内容を入力することが可能となった。

②職員の負担軽減について

活動場所での入力が可能となったので、メモをとって後から記録することが不要となりストレス無く、サービス提供時間内で業務に専念できる。

5. 今後の課題

就労支援に関する記録のみではなく、障害福祉サービス費の加算状況に関する内容も可能となるようなシステム化を目指している。

6. 写真



さつまいも畑



いも洗い作業所